



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 フクダ電子株式会社

コード番号 6960 URL <https://www.fukuda.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白井 大治郎

問合せ先責任者 (役職名) 社長室経理部長 (氏名) 本部 晴彦 TEL 03-5684-1558

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	93,481	0.4	16,077	1.4	16,766	2.7	11,606	0.2
2022年3月期第3四半期	93,068	ー	15,863	35.9	16,320	36.4	11,579	28.6

(注1) 包括利益 2023年3月期第3四半期 11,950百万円 (1.5%) 2022年3月期第3四半期 11,773百万円 (22.6%)

(注2) 2022年3月期第3四半期の売上高については、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用した影響により、対前年同四半期増減率は記載していません。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	383.71	ー
2022年3月期第3四半期	382.89	ー

(注) 当社は、2022年12月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。1株当たり四半期純利益については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	195,205	156,556	80.2	5,175.68
2022年3月期	195,495	149,857	76.7	4,954.70

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 156,556百万円 2022年3月期 149,857百万円

(注) 当社は、2022年12月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。1株当たり純資産については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	ー	100.00	ー	205.00	305.00
2023年3月期	ー	140.00	ー	ー	ー
2023年3月期（予想）	ー	ー	ー	70.00	ー

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 2022年3月期 第2四半期の内訳 普通配当80円00銭、特別配当20円00銭

2022年3月期 期末の内訳 普通配当80円00銭、特別配当125円00銭

2023年3月期 第2四半期の内訳 普通配当110円00銭、特別配当30円00銭

2023年3月期（予想） 期末の内訳 普通配当55円00銭、特別配当15円00銭

(注3) 当社は、2022年12月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。2023年3月期（予想）の1株当たり期末配当については、当該株式分割後の金額を記載し、年間配当合計は「ー」と記載しております。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

通期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	125,000	△5.4	20,000	△11.9	20,300	△13.3	14,000	△13.7	462.85

（注1）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（注2）当社は、2022年12月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。1株当たり当期純利益は当該株式分割後の数値であります。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	39,176,000株	2022年3月期	39,176,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	8,927,472株	2022年3月期	8,930,480株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	30,247,402株	2022年3月期3Q	30,242,557株

（注）当社は、2022年12月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。そのため、上記の期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.02「1. 当四半期決算に関する定性的情報

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 02
(1) 経営成績に関する説明	P. 02
(2) 財政状態に関する説明	P. 02
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 02
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 03
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 03
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 05
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 05
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 06
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 07
(継続企業の前提に関する注記)	P. 07
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 07
(会計方針の変更)	P. 07

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大に加え、国際情勢等を受けた資源価格高騰や為替の影響により引き続き厳しい状況にあり、先行きについても不透明な状況が続くと考えられます。

医療業界においては、新型コロナウイルス感染症への対応を強化しつつ、地域医療構想による医療機関の機能分化と連携を通じた効率的な医療提供体制の構築が求められています。

このような環境の中、当第3四半期連結売上高は934億81百万円（前年同期比0.4%増）となりました。利益につきましては、連結営業利益は160億77百万円（前年同期比1.4%増）、連結経常利益は167億66百万円（前年同期比2.7%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は116億6百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

① 生体検査装置部門

心電計関連、血圧脈波検査装置、自動血球計数装置の売上が伸張し、連結売上高は199億73百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

② 生体情報モニター部門

モニタの連結売上高は74億90百万円（前年同期比19.0%減）となりました。

③ 治療装置部門

AED、人工呼吸器が減少しましたが、在宅医療向けレンタル事業の売上が伸張し、連結売上高は405億34百万円（前年同期比0.3%増）となりました。

④ 消耗品等部門

消耗品等部門は、記録紙、ディスプレイ電極や上記各部門の器械装置に使用する消耗品や修理、保守を含みます。

消耗品等部門の連結売上高は254億83百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末と比べて2億90百万円減少し、1,952億5百万円となりました。

これは、有形固定資産が13億23百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が67億58百万円減少したことなどが主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末と比べて69億89百万円減少し、386億48百万円となりました。

これは、支払手形及び買掛金が11億83百万円減少、未払法人税等が26億91百万円減少したことなどが主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて66億99百万円増加し、1,565億56百万円となりました。

これは、利益剰余金が63億48百万円増加したことなどが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は概ね予想通りに推移しており、2022年10月31日に発表致しました通期業績予想からの変更はございません。

なお、通期業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	64,057	63,320
受取手形及び売掛金	36,543	29,784
電子記録債権	2,908	3,325
有価証券	497	—
商品及び製品	9,391	12,297
仕掛品	205	350
原材料及び貯蔵品	3,940	6,255
その他	2,217	1,325
貸倒引当金	△23	△3
流動資産合計	119,736	116,655
固定資産		
有形固定資産	45,264	46,588
無形固定資産	1,538	1,504
投資その他の資産		
投資有価証券	9,671	10,537
その他	19,293	19,932
貸倒引当金	△8	△13
投資その他の資産合計	28,956	30,456
固定資産合計	75,759	78,549
資産合計	195,495	195,205
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,501	14,318
電子記録債務	6,648	5,627
短期借入金	1,750	1,800
未払法人税等	3,451	759
賞与引当金	3,439	1,520
製品保証引当金	117	136
その他の引当金	579	386
その他	7,339	7,233
流動負債合計	38,829	31,783
固定負債		
退職給付に係る負債	3,137	3,189
その他の引当金	752	717
その他	2,918	2,957
固定負債合計	6,809	6,865
負債合計	45,638	38,648

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,621	4,621
資本剰余金	21,841	21,839
利益剰余金	142,135	148,483
自己株式	△20,362	△20,353
株主資本合計	148,236	154,591
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,836	1,939
為替換算調整勘定	△11	198
退職給付に係る調整累計額	△204	△172
その他の包括利益累計額合計	1,621	1,965
純資産合計	149,857	156,556
負債純資産合計	195,495	195,205

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	93,068	93,481
売上原価	45,752	44,436
売上総利益	47,315	49,044
販売費及び一般管理費	31,452	32,966
営業利益	15,863	16,077
営業外収益		
受取利息	51	51
受取配当金	111	145
為替差益	94	306
投資事業組合運用益	78	17
その他	162	201
営業外収益合計	497	721
営業外費用		
支払利息	27	26
投資事業組合運用損	4	—
その他	7	6
営業外費用合計	40	33
経常利益	16,320	16,766
特別利益		
固定資産売却益	4	9
投資有価証券売却益	60	—
保険解約返戻金	478	167
抱合せ株式消滅差益	—	67
特別利益合計	543	244
特別損失		
固定資産売却損	—	14
減損損失	16	59
投資有価証券評価損	—	53
事務所移転費用	33	4
その他	—	0
特別損失合計	50	133
税金等調整前四半期純利益	16,814	16,877
法人税、住民税及び事業税	4,845	5,159
法人税等調整額	388	111
法人税等合計	5,234	5,271
四半期純利益	11,579	11,606
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,579	11,606

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	11,579	11,606
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52	103
為替換算調整勘定	117	209
退職給付に係る調整額	23	31
その他の包括利益合計	194	344
四半期包括利益	11,773	11,950
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,773	11,950

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。